

広島広域都市圏の歴史

西国 街道

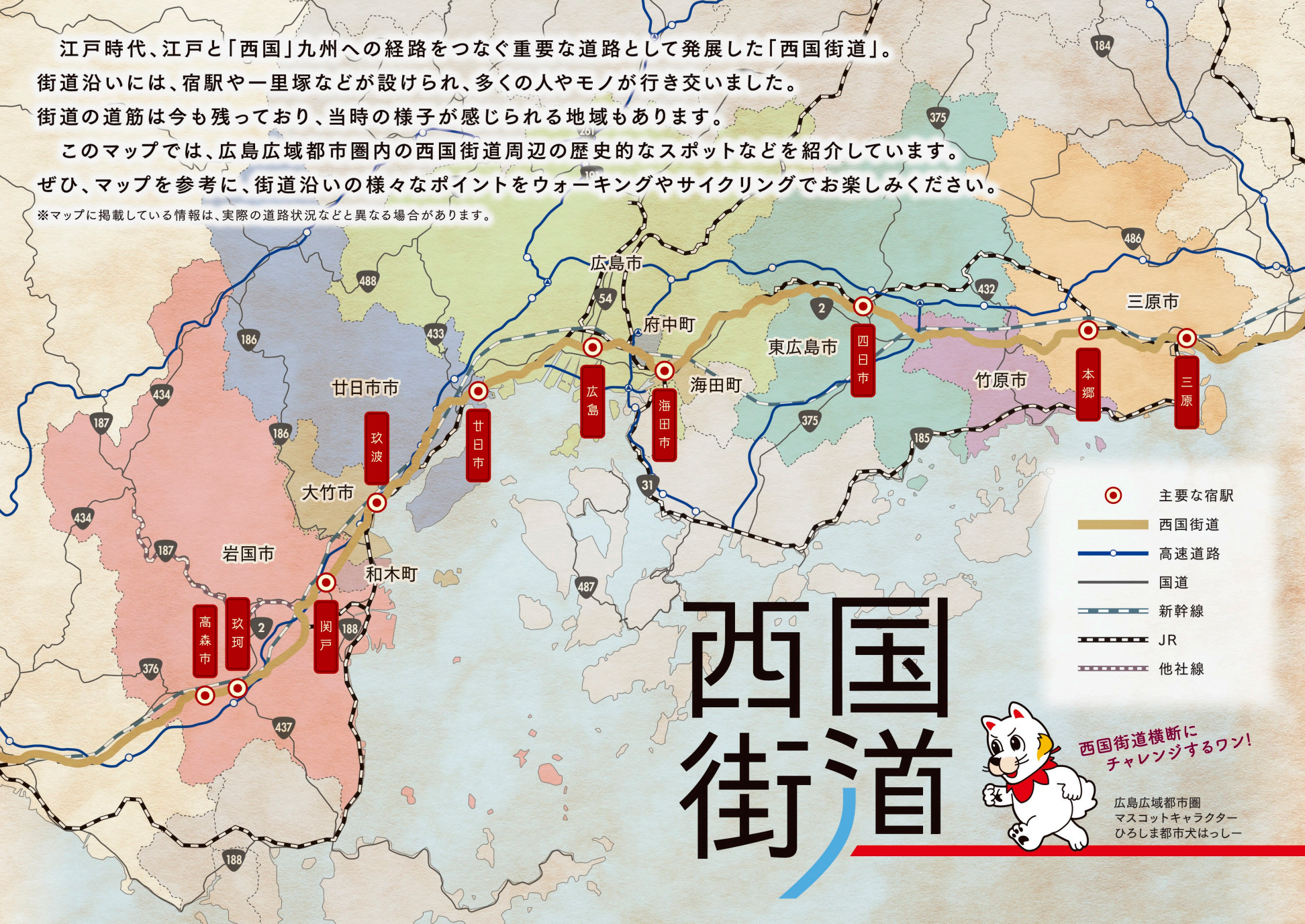
横断マップ



江戸時代、江戸と「西国」九州への経路をつなぐ重要な道路として発展した「西国街道」。
街道沿いには、宿駅や一里塚などが設けられ、多くの人やモノが行き交いました。
街道の道筋は今も残っており、当時の様子が感じられる地域もあります。

このマップでは、広島広域都市圏内の西国街道周辺の歴史的なスポットなどを紹介しています。
ぜひ、マップを参考に、街道沿いの様々なポイントをウォーキングやサイクリングでお楽しみください。

※マップに掲載している情報は、実際の道路状況などと異なる場合があります。



西国街道

- 主要な宿駅
- 西国街道
- 高速道路
- 国道
- - 新幹線
- - JR
- - 他社線



西国街道横断に
チャレンジするワン!

広島広域都市圏
マスコットキャラクター
ひろしま都市犬はっしー

①三原エリア



500m

大島神社へ
向かう道は
細く分かりづらいです。



後藤門石垣



三原城船入櫓跡



三原城東大手門跡の碑



極楽寺



熊野神社



糸碓神社



三原城西惣門跡の碑



吉里塚跡の碑



順勝寺



宗光寺



妙正寺

山陽新幹線

山陽本線

344

75

75

呉線

沼田川

185

MAP紹介

ガイド案内
あります



三原ガイドの会
(三原観光協会内)
0848-67-5877



三原市



西国街道の駅mihola

築約100年の古民家をリノベーションし、三原市をはじめ県内外の特産品を販売しています。併設するカフェではランチやスイーツを楽しめます。



大島神社

三原城の大島稲荷と城内の庭に祀られていた大島神社を合祀し、現在の地に移されました。参道には風情のある朱色の連立鳥居が並びます。



お茶の平野園

明治38年(1905年)創業のお茶屋です。城跡を眺めながら、併設の日本茶カフェでお茶を飲みつつゆったりとした時間を過ごせます。



三原城跡

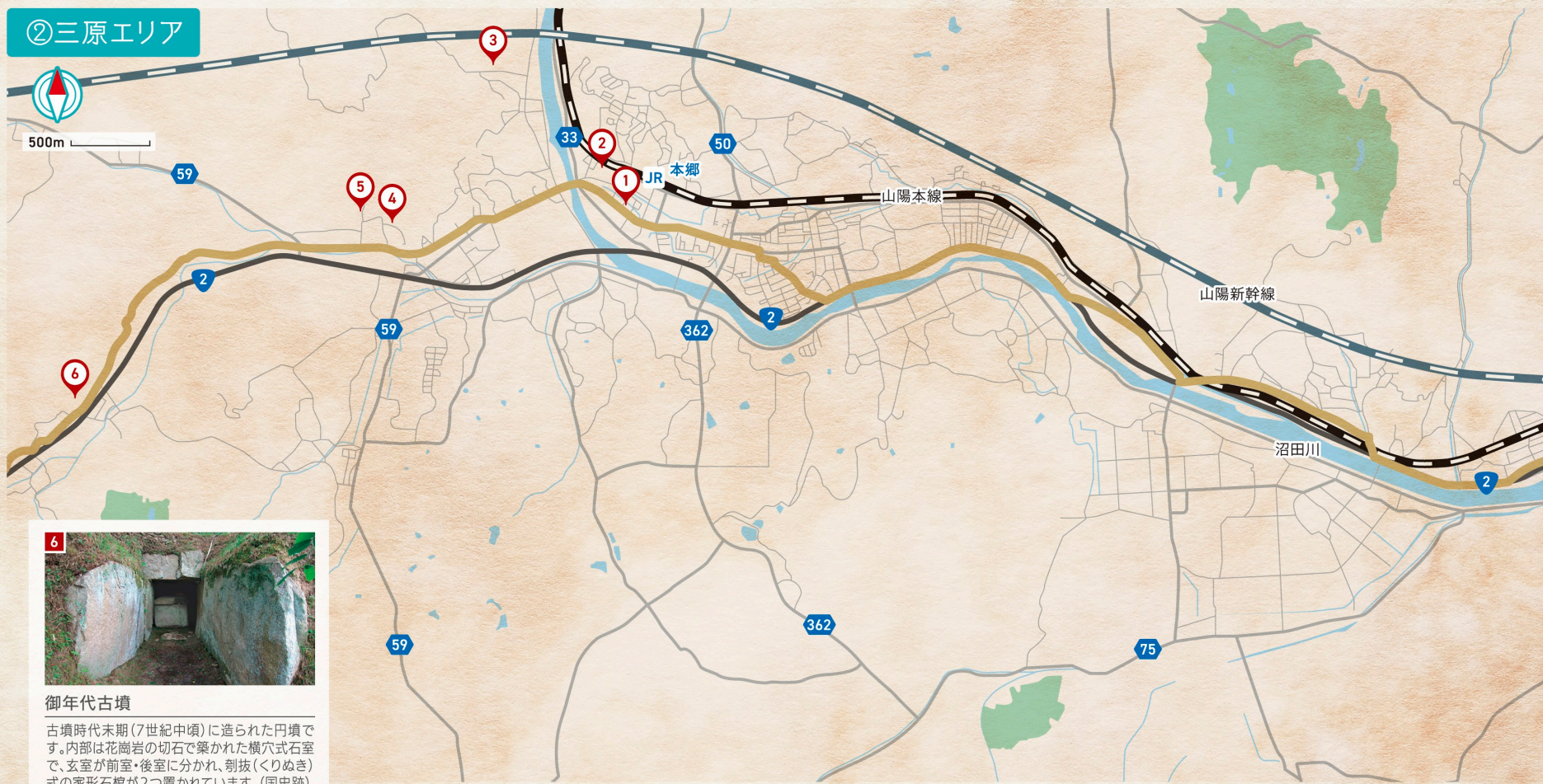
戦国武将・毛利元就の三男である小早川隆景が永禄10年(1567年)に築城した海城です。海に浮かんで見えたことから、別名「浮城」とも呼ばれます。



酔心山根本店

万延元年(1860年)創業の日本酒の蔵元で、事前に予約すれば見学もできます。日本画の巨匠・横山大観が最も愛飲した酒として知られています。(国登録文化財)

②三原エリア



御年代古墳

古墳時代末期(7世紀中頃)に造られた円墳です。内部は花崗岩の切石で築かれた横穴式石室で、玄室が前室・後室に分かれ、剝抜(くりぬき)式の家形石棺が2つ置かれています。(国史跡)



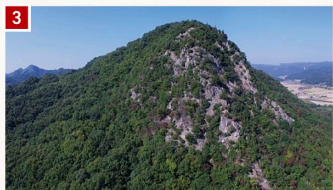
梅木平古墳

横穴式石室では県内で最大級の規模(全長13.25m・幅3.02m・高さ4.21m)を誇り、7世紀初頭前後の古墳と推定されます。(広島県史跡)



横見廃寺跡

昭和46年～48年までの発掘調査で、講堂跡、塔跡、回廊跡、北面築地跡などの遺構が見つかりました。寺の範囲は東西約100m、南北約80m前後と考えられます。(国史跡)



新高山城跡

小早川隆景により天文21年(1552年)、対岸の高山城から本拠地が移されました。本丸・釣井の段には石垣が見られ、井戸が6基現存します。(続日本100名城に選定、国史跡)



本郷生涯学習センター

2階の展示室では、本郷地域の文化財に関するパネルを展示しています。1階には続日本100名城のスタンプ(新高山城跡)を設置しています。



恵美須神社

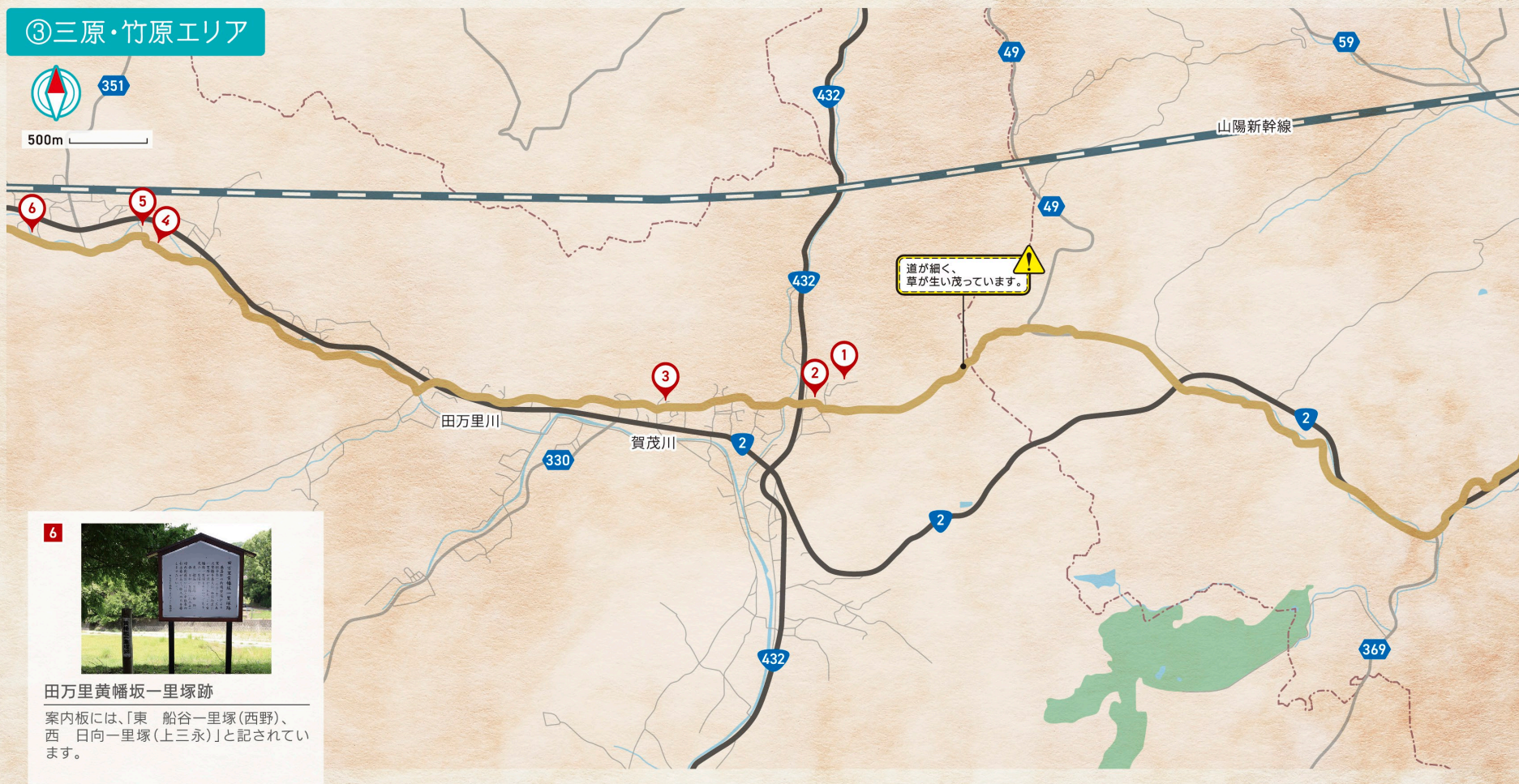
商売の神様である恵比寿様を祀っています。鳥居には鯛の2枚合わせの扁額があり、鯛の形をした手水鉢があります。

③三原・竹原エリア



351

500m



6



田万里黄幡坂一里塚跡

案内板には、「東 船谷一里塚(西野)、西 日向一里塚(上三永)」と記されています。

5



田万里市跡

周りには田万里市本陣跡や市恵美須神社などがあり、往事の面影を残しています。

4



茗荷の清水

田万里市から100mほど東に位置し、西国街道を行き来する旅人ののどを潤した清水です。

3



船谷一里塚跡

案内板には、「1610年頃～200年間」と記されています。近くには、江戸時代の石積みも残っています。

2



西国街道道標

明治32年(1899年)に建立された道標です。「東大坂 西広島 道、南竹原 北三次 道」と記されています。

1



横大道古墳群

新庄町東鷺森山の麓に11基の古墳が分布しています。なかでも1号墳の横穴式石室の規模は竹原市内最大で、金銅製冠片をはじめとする副葬品が発見されています。



④竹原・東広島エリア



ガイド案内
あります



東広島
ボランティア
ガイドの会
082-421-2511



4 西条酒蔵通り観光案内所(くぐり門)

路地を跨いで建つ建物が珍しく、昭和初期に賑わった芝居小屋「朝日座」への入口でした。平成23年に改装し、観光案内所になっています。



3 日向一里塚

江戸時代に設けられた一里塚で、東広島呉自動車道建設時に西に60mの位置に移築復元されました。南北に2基あり、その間は当時の道幅と同様4.5mです。



2 三永の石門

明治15年(1882年)竣工。国道2号を作るときに分断された、農業用水路をつなぐためにつくられた石造アーチ式の水路橋です。(登録有形文化財)



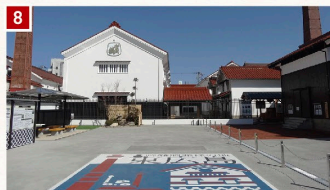
1 石立神社

豊田郡誌に、神社の由緒(落石伝説)が記されています。創建は寛延4年(1751年)頃とされており(その後再建)、今も大切に祀られています。



9 松尾神社

日本三大酒神の一人、大山咋神を祀る京都嵐山の松尾大社から分祀された神社です。



8 西条本町歴史広場

西条酒蔵通りとその周辺地域の歴史と文化を学ぶことができる多目的広場です。背景に酒蔵が並び、フォトスポットとしてもおすすめです。



7 御茶屋(本陣)跡

寛永10年(1633年)に幕府巡検使接待のために建てられました。その後、四日市宿の本陣として活用され、大名や幕府の要人が宿泊しました。



6 史跡 西条酒蔵群

西条酒蔵通り地区に広がる、近世に始まり、近代に発展し、現在も続く近代屈指の酒造施設群です。令和6年2月に国の史跡に指定されました。



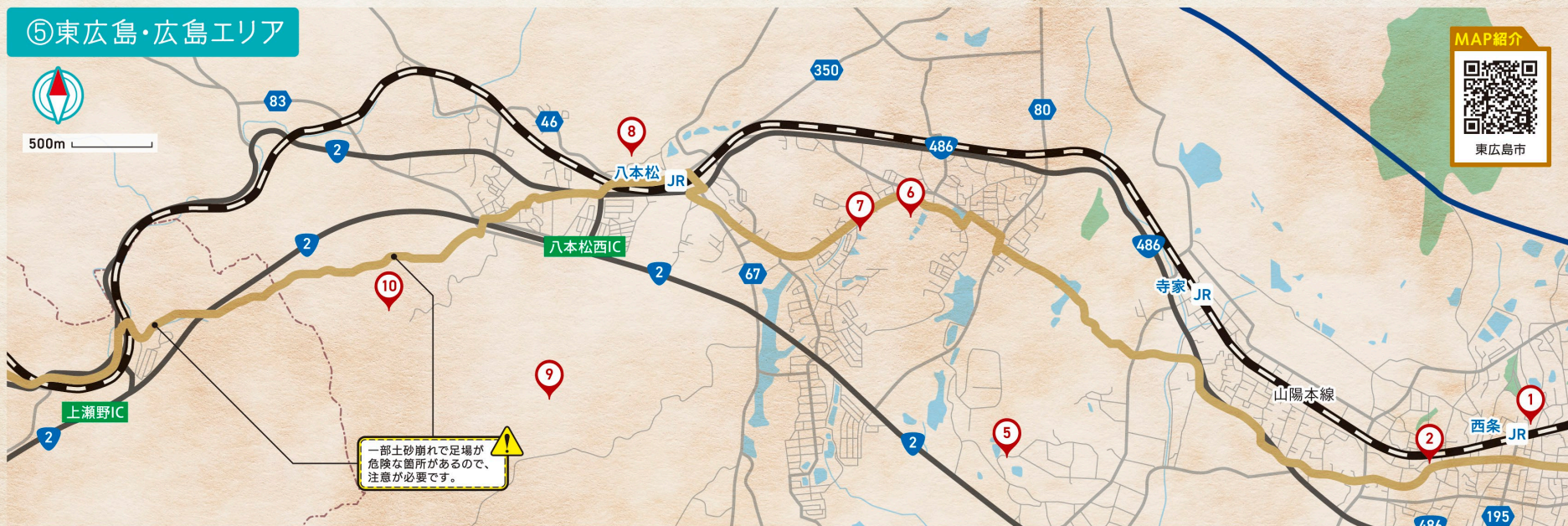
5 史跡 安芸国分寺跡(安芸国分寺歴史公園)

奈良時代に聖武天皇の詔により、全国に造られた国分寺の一つです。現在の境内の周辺は安芸国分寺歴史公園として整備されています。

⑤東広島・広島エリア



500m



MAP紹介

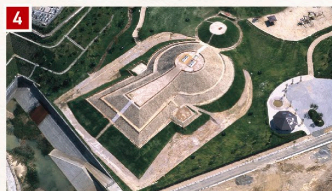


東広島市



新宮神社

本殿は寛延3年(1750年)に再建されたもので、東広島市内で特に大規模なものです。建築意匠に優れ、東広島市の重要文化財に指定されています。



史跡 三ツ城古墳

撮影：井手 三千男

3基の古墳からなる古墳群で、第1号古墳は広島県内最大級の前方後円墳です。5世紀前半頃の築造と推定され、当時の安芸地方の大豪族の墓と考えられています。



賀茂郡御役所跡

江戸時代、広島藩の代官所が置かれ、代官不在時は御役所と呼ばれました。



教善寺

浄土真宗のお寺で本堂は明治12年(1879年)に再建されたものです。随所に豪華な彫刻や彩色が見られ、明治時代の豪華絢爛な真宗本堂の好例です。



三ツ城古墳
ガイダンスコーナー



大山峠

古来より山陽道(西国街道)の難所として知られます。付近には戦国時代の刀匠・大山刀鍛冶の屋敷跡やお墓が残されています。



東広島市史跡 曽場が城跡

鏡山城の廃城後、大内氏の安芸国支配の拠点となった杣城の遺構です。山陽道(西国街道)を押さえる上で好位置にありました。



疱瘡神社・馬頭観音

子供の病に霊験があり、天然痘が流行した時、祈ると早く治ったことから疱瘡神社という名になりました。菖蒲前の愛馬を祀った馬頭観音もあります。



八本松八十八石仏

北海道開拓で富を得て帰郷し、八本松駅近くに住居を構えていた堀岡熊次郎が中心となって建てた88体の舟形光背をもつ石仏です。



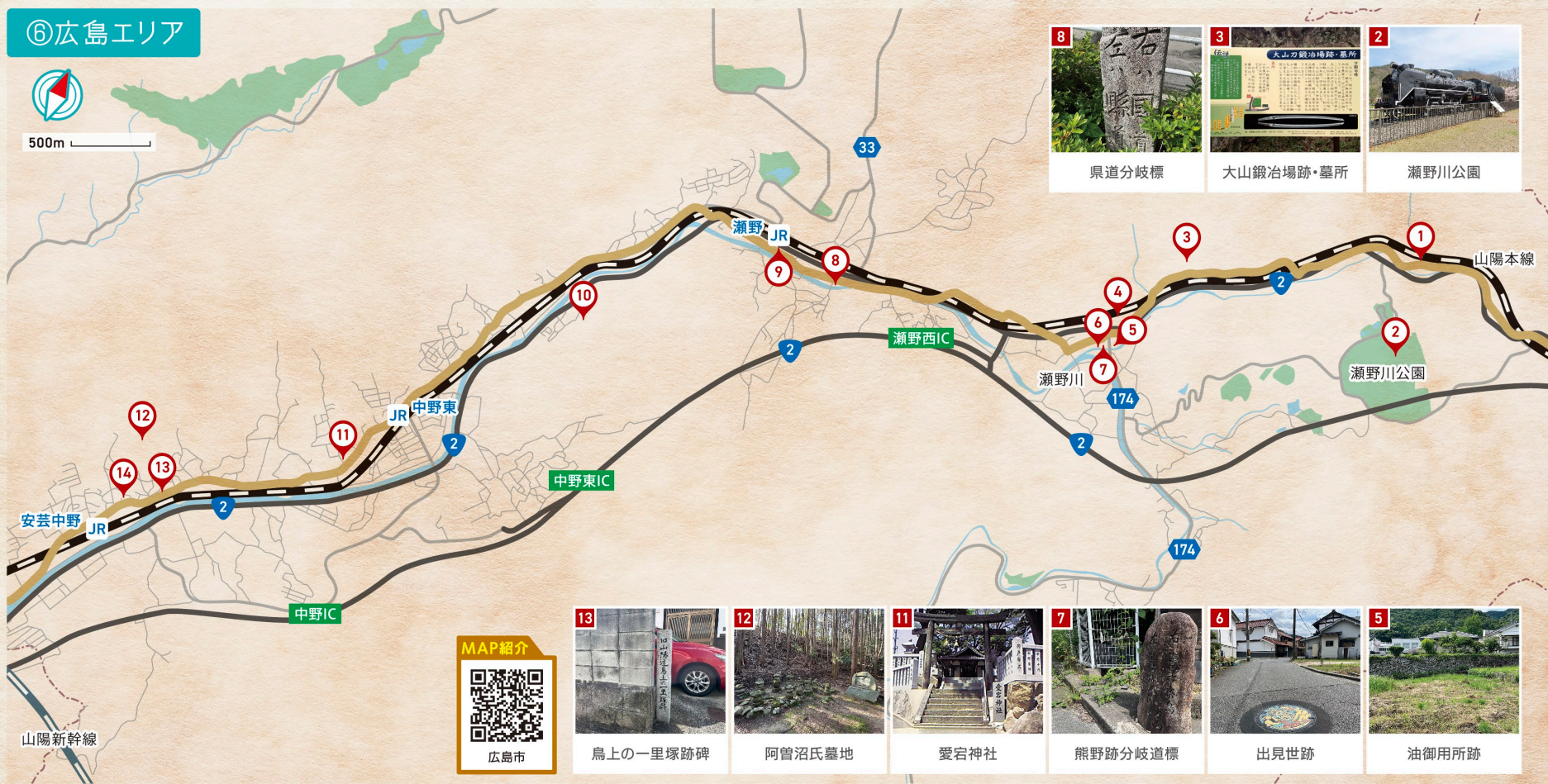
清水川神社

文明18年(1486年)創建。参勤交代時の落馬を防ぐため、神殿を北向きから西向きに向けなおしたところ、以後そのようなことは起こらなかったと伝わっています。

⑥広島エリア



500m



県道分岐標



大山鍛冶場跡・墓所



瀬野川公園



鳥上の一里塚跡碑



阿曾沼氏墓地



愛宕神社



熊野跡分岐道標



出見世跡



油御用所跡



専念寺

安芸国広島藩の地誌『芸藩通志』に、僧道栄の開基とあります。現在は真宗で、それ以前は禅宗とも真言宗とも言われますが、中野の地に古くより仏教道場としてありました。



切幡神社と大ケヤキ、シイ林

天文6年(1537年)に阿曾沼興郷が社殿を再造しました。祭神は天照大御神、国之常立神、宗像三女神他。境内にある大ケヤキと裏山のシイ林は市の天然記念物です。



落合の一里塚跡碑

広島札場より4里、この一里山は50丁道、尾道より約15里。筑紫紀行にも記されました。



龍善寺

治安2年(1022年)空心が天台宗伊福寺を開基。天文15年(1546年)真宗に改宗。寛永元年(1624年)快存が現在地に再興。その後龍善寺に改めました。



涼木の一里塚跡碑

備後尾道より14里、広島札場より5里50丁道と記されています。寛永10年(1633年)の巡見使巡察の時に設置されたといわれています。

⑦広島・府中・海田エリア



府中町歴史民俗資料館(府中公民館内)

府中町の「自然・あゆみ・暮らしと文化」をテーマに、昔の道具、農家、動植物ジオラマ、国史跡下岡田官街遺跡からの出土品・復元CGなどを展示しています。



岩滝神社

明暦2年(1656年)、それぞれの集落にあった八幡宮、祇園社、新宮の3つの神社を1つにして当時の船越村一本化の象徴として岩滝山に合祀されました。



三宅家住宅

江戸時代から明治にかけての大農家。屋号は新宅屋、母屋は寛政元年(1789年)の建築。土蔵などが残され江戸時代の面影が残されています。



旧千葉家住宅

屋号は神保屋、江戸時代を通じて天下送り役、宿送り役など要職を務めました。座敷棟は広島県の重要文化財、庭は名勝に指定されています。



中野砂走の出迎えの松

参勤交代による江戸勤めを終えて藩主が広島城下に入る際、家来たちがこの付近まで出迎えたことに由来しています。昭和49年(1974年)に広島市天然記念物に指定されました。

⑧広島エリア



500m



瀨切石



別れの茶屋



旭山神社



旧井口港の雁木



地藏尊



浄教寺



小己斐明神

古い街道が残っていますが、通り抜けできません。

古いまち並みが残っています。

JR(新井口)

MAP紹介



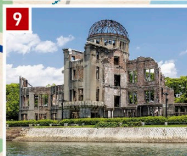
広島市



本川橋



元安橋



原爆ドーム



広島城



広島本通商店街



胡子神社



仏だん通り



西国街道デザインマンホール/サインボード



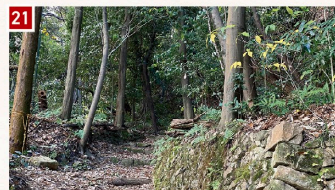
京橋



猿猴橋



西国街道案内板



龍神山

龍神山山道入口から約100mは江戸時代の西国街道がほぼ昔のままの姿で残っています。山頂は望月山と称され、月見の名所でもありました。



小泉本店

江戸時代の天保年間(1829年~1847年)に創業された造り酒屋。今も蔵島神社のお神酒をはじめ清酒(日本酒)を作っています。屋根の上の「煙出し」など特徴的な造りの母屋から昔の街道の面影が見えます。



延命地蔵

長生きをかなえてくれる地蔵菩薩です。旅人が安全を願いました。



源左衛門橋

江戸時代の初めの頃、ある大名が通りかかると八幡川が出水して川を渡れず困っていました。近所の柴竹源左衛門が板を持ってきて渡してやったことから、この名前が付けました。



平和記念公園

原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念して開設された都市公園。公園内のS字の道は、城下町特有の鍵型に折れ曲がる道があった名残です。

⑨広島・廿日市エリア



500m



洞雲寺



洞雲寺前公園



(株)サクラオブルワリー
アンドディステリリー



津和野藩御船屋敷跡



街道松(廿日市市)



佐方一里塚跡



福佐売神社

節婦の榎本連福佐売を祀った神社です。「三代実録」には貞観14年(872年)にその節操を称し位階を与えられたという記録が残っています。



けん玉商店街

廿日市が発祥のけん玉をモチーフにした飲食メニューや雑貨を販売する商店が立ち並びます。けん玉を描いたマンホール鉄蓋は隠れた人気スポットです。



廿日市本陣跡

大名や役人が宿泊していた本陣です。廿日市宿の本陣役は山田氏が代々務めました。



五つ神社

古来「えびすさん」と呼ばれ、御祭神が五柱であり社名となり、五日市のいわれともいわれています。一説には菅原道真が船を着け休んだ地とも伝えられています。



塩屋神社

江戸初期に開設された海老塩浜の鎮守社で、厳島神社の末社として、また五日市八幡神社の御旅所ともなり、五日市の港は繁栄を極めました。



廿日市天満宮

江戸時代中期から後期にかけて廿日市は北前船が出入りしていました。灯籠の明かりは灯台として沖をゆく船の安全を守っていたと伝えられます。



海老塩浜跡

江戸初期に広島藩は海老山の西に塩浜を開設しました。良質の塩は佐伯郡や山県郡へ売り渡され、明治末年に閉鎖され埋立てが行われました。

⑩ 廿日市・大竹エリア



500m



今川貞世歌碑



妹背の滝



大頭神社



高庭駅家跡



三櫓社



今川貞世歌碑



道路建設によって、
当時の道が不明に
なっています。

鉄の峠のある山道ですが、当時の道は
不明です。鉄の峠付近から玖波方面へ
行く道は危険ですので通行しないでください。

山道により足場が
悪いので、注意が
必要です。



高札場跡



角屋釣井

ガイド案内
あります



大竹市歴史研究会
0827-52-3774

MAP紹介

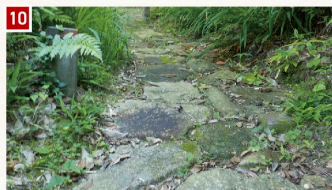


大竹市



玖波宿本陣跡

玖波宿には本陣「洪量館」が置かれ、諸大名や幕府役人の宿泊に当てられました。卯建の町並みも残っています。



鳴川の石畳

坂道に平らな敷石を敷き詰めて、土が流れるのを防ぎ、旅人や馬の歩行の安全を図ったもので、当時の街道づくりの苦心が偲べれます。(約25m)



残念社

長州戦争中、平和のため、ひとり長州陣に赴く、長州軍に狙撃され「残念」と大声を発して倒れた宮津藩依田伴蔵を悼み、土地の人々が建てた祠です。



今川貞世歌碑

今川貞世が旅の紀行文を記した「みちゆきぶり」には大野の景色を詠んだ歌が4首あり、中山、大野浦駅、四十八坂の寺屋敷に歌碑が建てられました。



新宮神社・次郎屋敷跡

大野五郎伝説の総領である二男の次郎が祀られている神社です。その東側に次郎の屋敷跡と伝えられる空き地があります。

500m 



吉田松陰東遊記念碑



西国街道案内標柱



小瀨茶屋跡



滕池神社



汐涌石



吉田松陰歌碑

吉田松陰が安政の大獄によって江戸へ送られる際に、小瀬の地で詠んだといわれる歌を刻ませた石碑です。石碑の字は岸信介が書いています。



籌勝院

岩国藩の家老、香川春継の菩提寺です。
四境戦争の際は、遊撃隊を主力とした
長州軍の本陣となりました。



木野川渡し場跡

安芸・周防の国境にあった渡し場付近は、今も昔の姿を留めています。平時の水深は舟渡しの所で約1.4m、徒歩(かち)渡りの所で約0.7mでした。



湯原山八幡宮

湯原源左エ門常弘が天徳2年(958年)に創建したと伝えられています。二鹿伝承にも関係する神社でもあり、古代の山陽道は神社の周辺を通っていたと推測されます。



龜居城跡

広島城に入城した福島正則は、毛利氏に対する軍事拠点として亀居城を築城しました。現在は亀居公園として市民の憩いの場となっています。

**ガイド案内
あります**



大竹市歴史研究会
0827-52-3774

MAP紹介



大竹市

⑫ 岩国エリア



500m



千体仏

柱野の地にかつてあった桂雲寺にゆかりある小さな木仏で、795体と多数あることから千体仏と呼ばれています。



多賀山神社

疫病が流行った際に、多賀大社より勧請したと伝えられています。創建は不明ですが、明和5年(1768年)以前と推測されています。



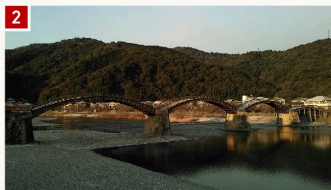
石州街道(岩国往来)分岐点

関戸とこの地で石州街道(岩国往来)と分岐します。石州街道は、この地で山陽道と分かれ、岩国北部の本郷、錦町の宇佐郷を経て萩あるいは津和野へ向かいます。



大明小路

錦帯橋より伸びる岩国城下町の主要な街路です。石州街道(岩国往来)の一部であり、岩国藩の港、今津と本郷、萩、石見地域を結ぶ経由地でもあります。



錦帯橋

三連のアーチ構造を有する木造橋で、全長は約193mです。この木造アーチ構造の美しさが大きな魅力です。(国指定名勝)



岩国城跡

吉川広家が築城した城で、慶長13年(1608年)に完成しました。その後、元和の一國一城令で廃城となります。現在の天守は昭和37年(1962年)に建てられたものです。

⑬ 岩国エリア



500m



周防源氏武田氏屋敷跡
及び墓所



歴史の道 旧山陽道
看板



浄光寺

玖珂の地名の由来とされる、玖の玉（黒岩の玉）、珂の玉（瑠璃潔白）が野口の里から出現し、金光明寺（後の浄光寺）の霊泉で磨いたとされています。



祥雲寺

元は谷津にありましたが、江戸時代に現在地に移りました。1555年、防長侵攻を行った毛利元就との戦いである鞍掛合戦で討死した、鞍掛城主杉隆泰の墓があります。



田坂市良右衛門碑

市良右衛門は時の代官の悪政に対し改めるよう進言説得し、代官に盾ついた罪で投獄後、村民有志の訴えによって刑が軽くなり釈放されました。



欽明寺

第29代欽明天皇が御幸の際、休息され欽明の名をいただいて寺号としたと伝えられています。境内には「欽明天皇腰掛けの石」があります。



高森天満宮

周防三天神の一つで、学問の神様、菅原道真公が祀られています。



吉田松陰常宿の地石碑

かつて吉田松陰の親戚、岩本家の住宅があった場所で、定宿となっていたと伝えられています。



高森本陣跡

萩藩が高森に設けた本陣であり、現在は門だけが現存しています。藩主の参勤交代や幕府の役人の宿泊等に利用されました。



梶杜八幡宮

高森の八幡さんとして地元知られている神社です。また、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に休憩の陣所を置いたことも伝えられています。



菅原神社

菅原神社は菅原道真を祀っており、社叢のうちモミノキとサカキは、ひと際目立つ樹木で市指定文化財に指定されています。

広島広域都市圏のご紹介



詳しくは
ホームページを
見てほしいワン♪



広島広域都市圏は、広島市の都心部からおおむね60kmの圏内にある、広島県、山口県及び島根県の3県にまたがる30市町で構成されています。

この30市町で構成する広島広域都市圏協議会では、圏域の一体的な発展に向けた交流・連携を推進しています。

また、この協議会では、圏域内のまちの活性化や産業・経済の活力増進などを図ることを目的として「まち起こし協議会」を設置し、「西国街道」や「神楽」、「食と酒」といった地域資源を積極的に活用した取組を進めています。

西国街道とは

古代から中世まで、京都と大宰府を結ぶ唯一の大路だった「山陽道」。江戸時代になると、江戸と「西国」九州への経路をつなぐ重要な道路として発展し、五街道（東海道・中山道・日光道・奥州道・甲州道）に次ぐ脇街道と位置付けられました。江戸時代では、西国街道・西国往還・西国路などと呼ばれていましたが、現在では「西国街道」と呼ぶのが一般的です。

この街道では、寛永10年（1633年）の幕府巡見使の視察や、寛永12年（1635年）の参勤交代制度の確立などを契機として各地で街道の整備が行われ、街道沿いには宿駅や一里塚などが設けられました。参勤交代や幕府の要人、一般の人々など多くの人やモノが行き交い、それぞれの地域は発展していきました。

街道が通る広島広域都市圏の10市町※には、それぞれ様々な歴史的な見どころがあります。このマップでは西国街道沿いの見どころを紹介していますので、ぜひマップ片手に街道を横断し、その歴史に触れてみてください。

※広島市、竹原市、三原市、大竹市、東広島市、廿日市市、府中町、海田町、岩国市、和木町

広島城下絵屏風 部分（広島城所蔵）

西国街道



お問い合わせ

“西国街道”まち起こし協議会事務局（広島市企画総務局政策企画部広域都市圏推進課内）
広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 TEL:082-504-2017 FAX:082-504-2029

発行：広島広域都市圏協議会“西国街道”まち起こし協議会 このリーフレットは、令和6年7月に作成したものです。